

科目名称：	人間と社会（幼児教育学科）	
担当者名：	三浦 哲志	
区分	授業形態	単位数
基礎教育科目	講義	2
授業の目的・テーマ		
日常生活において接する国内外の様々なニュースを理解するためには、各国の政治・歴史・文化などについての知的好奇心と幅広い知識が必要です。現在起きている様々な問題に触れ、自ら考えることで、大学生として相応しい知識・教養・思考力を身に付けることがこの授業の目的です。受講者には、提示される話題に興味を持ち積極的に情報を収集することを期待します。		
授業の達成目標・到達目標		
国内外の様々な分野の問題に関して知識を得て、思考力を伸長させ、教養の基礎を築くことが目標です。		

基礎教育科目		ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP (1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し他者との信頼関係を築いていくことができる。		○
DP (2)	様々な課題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化する社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。		
DP (3)	専門的な知識や技能を修得し、それぞれの分野において、これらを柔軟に活用していくことができる。		

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
全学DP (1)	80	0	20		100
全学DP (2)					0
全学DP (3)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容 1》	《経験年数 1》
	《内容 2》	《経験年数 2》
	《内容 3》	《経験年数 3》
	《内容 4》	《経験年数 4》
備考		

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
身近な社会問題への理解	身近な社会問題の内容を正確に理解し、合理的な解決策を提案できる。	身近な社会問題の内容を一通り理解し、他者に説明できる。	身近な社会問題の内容は理解しているが、関心が薄い。	身近な社会問題の内容が理解できず、関心も持てない。
国外の諸問題への理解	国外の諸問題の内容を正確に理解し、合理的な解決策を提案できる。	国外の諸問題の内容を一通り理解し、他者に説明できる。	国外の諸問題の内容は理解しているが、関心が薄い。	国外の諸問題の内容が理解できず、関心も持てない。
自らの人生設計について	授業内容を理解し、自らの将来を意欲的かつ現実的に検討できる。	授業内容を踏まえ、自らの将来を現実的に検討できる。	授業内容を踏まえ、自らの将来を検討しようとする姿勢がある。	授業内容に関心を持たず、自らの将来を真剣に検討しようしない。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第1回 学歴と教養	授業内で配付したプリント・資料などを読み小レポートをまとめる。	45分
第2回 収入と格差（授業内でグループワーク）	収入と教育格差の学修成果について小レポートをまとめる。	45分
第3回 貧困と教育格差（授業内でグループワーク）	収入と教育格差の学修成果について小レポートをまとめる。	45分
第4回 日本の人口減少問題（授業内でグループワーク）	日本の人口減少問題の学修成果について小レポートをまとめる。	45分
第5回 日本のマスコミ	授業内で配付したプリント・資料を読み、日本のマスコミの小レポートをまとめる。	45分
第6回 ローフードと教育	視聴したDVD、授業内で配付したプリント・資料などからローフードと教育小レポートをまとめる。	45分
第7回 産業化された畜産の問題点	視聴したDVD、授業内で配付したプリント・資料などから産業化された畜産の問題点小レポートをまとめる。	45分
第8回 就職について（授業内でグループワーク）	就職についての学修成果について小レポートをまとめる。	45分
第9回 就職について（授業内でグループワーク）	就職についての学修成果について小レポートをまとめる。	45分
第10回 就職について（授業内でグループワーク）	就職についての学修成果について小レポートをまとめる。	45分
第11回 世界の宗教	視聴したDVD、授業内で配付したプリント・資料などから世界の宗教の現状小レポートをまとめる。	45分
第12回 世界の宗教	視聴したDVD、授業内で配付したプリント・資料などから世界の宗教の現状小レポートをまとめる。	45分
第13回 イスラ	視聴したDVD、授業内で配付したプリント・資料などから世界の宗教の現状小レポートをまとめる。	45分
第14回 中国の歴史と文化	視聴したDVD、授業内で配付したプリント・資料などから中国の歴史と文化小レポートをまとめる。	45分
第15回 中国の歴史と文化	視聴したDVD、授業内で配付したプリント・資料などから中国の歴史と文化小レポートをまとめる。	45分
事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。 また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。		
成績評価の方法・基準		
定期試験は、80%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。 授業内提出課題20%		
課題に対するフィードバック		
授業内提出の小レポートは確認して返却する		
教科書・参考書		
プリント配付		